

## 令和3年度山口県博物館協会総会 議事に関する資料

(令和3年4月28日現在)

日 時：令和3年(2021年)5月14日(金) 13時00分～15時00分

会 場：山口県立山口図書館 レクチャールーム  
山口市後河原150-1  
(博物館ではなく、図書館を会場としていますので御注意願います)

議 事：(13時00分～13時50分)

- (1) 令和2年度事業報告及び収支決算報告について
- (2) 令和3年度以降の協会運営について
- (3) 役員について
- (4) 令和3年度事業計画案及び予算案について
- (5) その他

講 演：(14時00分～15時00分)

- (1) 14時00分～14時30分  
「5Gの活用について」(仮題)  
株式会社NTTドコモ 5G・IoTビジネス部  
ビジネスデザイン担当部長 井上 篤弘 様(予定)  
※ オンラインで講演、質疑応答を行う予定
- (2) 14時30分～15時00分  
「クラウドファンディングの基礎知識と博物館のクラウドファンディング活用事例のご紹介」(仮題)  
株式会社KAIKA 講師は調整中  
※ 対面で講演、質疑応答を行う予定

- その他：(1) 参加者への配付資料がありましたら、75部御持参ください。  
(2) 駐車場が不足することが予想されます。周辺駐車場を御利用ください。  
(3) 情報交換会・茶話会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止させていただきます。  
(4) 当日は、クールビズ(ノーネクタイ、上着なし等)でお願いいたします。

連絡先：山口県博物館協会 榎良・林  
電 話：083-922-0294  
FAX：083-922-0353  
〒753-0073 山口市春日町8-2  
山口県立山口博物館内

- 「議事(2) 令和3年度以降の協会運営について」に関する資料は、以下のとおりです。(令和3年4月28日現在)

#### 《要点》

- ・ 地区割のあり方、理事の選出方法、研修事業引受の負担軽減については、コロナ禍でもあり令和3年度1年間をかけて検討を行っていく。
- ・ 加盟館園の増加対策については、ミュージアムガイドに係る節減経費と繰越金の一部を財源に、「加盟のメリットが実感できる取組」と「民間館園の会費の減額」を行う。

## (議案2) 令和3年度以降の協会運営について

直近の理事会及び総会で検討すべきとされた地区割や理事の選定方法、加盟館園の増加対策について、昨年度実施した館園へのアンケート結果等も踏まえ、今後の方向を定める。

### 1 地区割等に関するアンケート結果

昨年7月に全59会員に調査票を郵送し、34会員から回答を得た。

#### ① 地区割について

見直す必要があるかについては賛否が拮抗している。

ある24%、ない26%、どちらともいえない47%

《主な意見》

- ・ 区割りを見直す前に、負担が大きいとされる地区引き受け研修の内容や役割等について、縮減できる要素を検討した方がよい。
- ・ バランスを取ることが必要ならば、できるだけ均等にした方がよい。
- ・ 地区によって加盟館数にバラつきがある。(西部地区があまりに多すぎる)

#### ② 理事の選出方法について

「見直す必要がない」が多い。

ある6%、ない24%、どちらともいえない68%

《主な意見》

- ・ 同一館から何年間も継続して理事が選出されている。
- ・ 現状で特に支障はない。
- ・ 会長、副会長は登録博物館の所属であることが好ましい。

#### ③ 加盟館を増やすには

《主な意見》

- ・会費を安くする。ただしそのためには活動の見直しも必要。
- ・博物館協会に入ってメリットがあるような募集を具体的に提示する。
- ・一般の方への協会認知を高めることも必要ではないか。

#### ④ その他、協会運営について

《主な意見》

- ・地区割や選出方法の見直しは、地区理事の負担軽減が目的と思うが、理事会が理事や研修受け入れの候補を探し、地区理事が調整を行うなど、サポート体制を強化することで、地区理事の負担軽減が図れるのではないか。
- ・2月の理事会の問題提起について、研修の受け入れや、事務局及び理事の方の負担が大きいと認識している。本協会の目的や事業内容の優先順位について共有し、関係者の負担が縮減されるように運営内容を検討していくことが必要と考える。
- ・研修会は、企業の視察があっても良いと思う。宇部・美祢・山陽小野田で行われているような大人の社会見学も良い例だと思う。

## 2 ミュージアムガイドの必要部数の聴取

総会での提案を受け、本年1月に全58会員に希望部数を聴取した。

→ 部数の減少と、納品方法の簡素化で、約120千円の節減が可能。

	現行	見直し後	差し引き
配布部数	26,000部	19,000部	△7,000部
印刷費	593千円	473千円	△120千円

## 3 今後の対応案

### (1) 地区割のあり方と理事の選出方法、研修事業引受の負担軽減について

**持ち回り研修会を引き受ける地区及び当該地区理事の負担をどうすれば軽減できるかが論点。**

**理事会においてさまざまな意見が出されたが、コロナ禍でもあり以下の案を念頭に1年間かけて検討を行っていく。**

#### ① 地区割について (現状 東部10 中部15 北部10 西部24)

**A案 西部を分割し、5地区とする。**

西部A 9 美祢市、宇部市、山陽小野田市 西部B 15 下関市

《メリット》引き受けのローテーションが緩やかになる。

《懸念事項》5年に一度の日博協中国支部との共催研修会の引き受けが固定されないよう工夫が必要になる。

B案 西部の美祢市4館園を北部に移行する。 北部14 西部20  
《メリット》西部の集中が若干軽減される。  
《懸念事項》東部のアンバランスは解消されない。

※東部の加盟率が低い(県平均58%に対し30%)という背景はある。

C案 大きく2つの支部にする 西北部 34 東中部 25  
《メリット》大きなエリアから理事を選べる  
《懸念事項》理事を希望する館が少なければ変わらない？

D案 変更しない。  
《メリット》変更すべきという意見がそれほど多いわけではない  
《懸念事項》アンバランスは解消されない。

## ② 理事の選出方法について

A案 連続任期を3期までとし、同一市町から2名の選出をしない  
《メリット》地区再編との組み合わせで特定館園の負担が軽減できる。  
《懸念事項》東部や再編した場合の西部では実現が難しいか。

B案 1名は中心的公立館で連続、もう1名は小規模館、民間の輪番制とする  
《メリット》多くの館園に理事になってもらうことで主体的な参画が可能  
《懸念事項》中心館園は理事職から逃れられない状況が続く

C案 見直さない  
《メリット》見直すべきとの意見は少ない  
《懸念事項》中心館園は理事職から逃れられない状況が続く

## ③ 研修事業の引受の負担軽減について

A案 地区の輪番引受でなくできる館や地区が引き受ける  
《メリット》当該年度に企画展等を行う館が手を上げやすい  
《懸念事項》研修は一定のエリアで行う必要があり、事務局の関与と調整が必要

B案 事務局の仲介と采配により他地区の協力(研修先の確保など)を増やす  
《メリット》引受地区の負担が軽減する  
《懸念事項》事務局の負担が増える

## (2) 加盟館園の増加対策

ミュージアムガイドに係る節減経費120千円と繰越金の一部を財源に、2本の柱で館園増加対策を行う。

① 加盟することのメリットが実感できる事業の実施

- ア 研修内容の充実・・・専門講師の招聘、企業見学など  
研修費の上乗せ +50千円
- イ 上記研修の無料お試し参加(R 3のみ)の実施  
未加盟館園及びその設置主体への案内状送付 +20千円

②民間館園の会費の減額

A、Bを新会費区分B' (10,000円)に

A 7館 × (18,000円-10,000円) = 56,000円

B 3館 × (12,000円-10,000円) = 6,000円 会費収入の減 62千円

【実施の考え方】

- ・本県の未加盟館園は公立が多いと考えられること

	全数	当協会加盟	未加盟
公立	75	36	39
民間立	32	23	9
計	107	59	48

山口県ホームページ

トップページ>組織から探す>文化振興課>文化情報やまぐち・文化施設  
情報

関係資料

- ・博物館、美術館、資料館、文学館等一覧

◇博物館、美術館、資料館、文学館等（平成29年4月1日現在）より

- ・公立館園に対する会費の減額がどれだけ新規加盟を促すか疑問。額よりも、加盟によって享受できる社会的メリットを住民に説明できることが大事。
- ・民間館園からは厳しい経営状況の中で会費の減免を求める声が少なからずあり、退会に歯止めをかける観点からも一定の対応が必要。

以上